

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：植物園と博物館で学ぶ植物学 ILAS Seminar :Learning botany in botanical gardens and natural history museums	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Science Professor,FUSE SHIZUKA Graduate School of Science Professor,TAMURA MINORU		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Intensive, First semester	Quota (Freshman)	12 (12)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Intensive 11 May 13:00- (guidance)
Classroom	Room 404, Graduate School of Science Bldg. No.6 (guidance) (North Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	生物多様性 / 植物学 / 分類学 / 植物園 / 自然史系博物館				
[Overview and purpose of the course]					
<p>植物は私たちのすぐ近くに在り、その学びの場は学内にとどまらない。 本科目では、京都府立植物園、大阪公立大学附属植物園、兵庫県立人と自然の博物館へ行き、様々な植物の実物に触れ、植物学の基礎を確認しながら、植物分類学を通じて多様な植物の見方を学ぶ。</p> <p>植物を広く学びたい・知りたいと思っているが、今まで勉強する機会がなかった方、植物学に興味のある方を歓迎する。植物園や自然史系博物館に興味のある方も歓迎する。</p>					
[Course objectives]					
<ul style="list-style-type: none"> ・植物の観察方法、識別方法、植物多様性の学び方を生きた植物に基づいて理解する。 ・植物学における標本の意義と役割を理解する。 ・植物の理解に向けて自主的、継続的に取り組む力を養う。 					
[Course schedule and contents]					
<p>第1回 5月11日(土) 13:00~16:00 場所：北部構内理学研究科6号館404室 初回ガイダンスと京都大学大学院理学研究科附属植物園(北部構内)で事前学習を行う。</p> <p>第2回 5月25日(土) 場所：京都府立植物園 熱帯植物を含む様々な植物の実物を観察しながら、植物の形態的特徴と類縁関係、そして系統を学ぶ。</p> <p>第3回 6月8日(土) 場所：兵庫県立人と自然の博物館とその近隣施設 植物学における標本の意義と役割を学ぶ。また、標本庫を見学し、標本の整理方法・収蔵方法を学ぶ。</p> <p>第4回 7月13日(土) 場所：大阪公立大学附属植物園</p>					
Continue to ILASセミナー：植物園と博物館で学ぶ植物学(2)					

ILASセミナー：植物園と博物館で学ぶ植物学(2)

日本の様々樹林型に生育するな植物を観察しながら、植物の同定方法（名前の調べ方）を学ぶ。また、学術的に価値のある植物標本の作製方法を学び、実際に作成する。

第5回
フィードバック

第2回～第4回は日帰りで授業を行い、各回レポート課題を実施する。各回の集合時間・集合場所等は初回ガイダンスで説明する。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業への参加状況と取り組み姿勢（70%）、レポート（30%）によって評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

植物は季節の変化に応じて、観察できるもの（形質・情報・種類）が異なる。通学路、京都大学構内、京都大学理学研究科附属植物園などを活用し、積極的にさまざまな植物に触れ関心を深めておいてほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

- ・1回生の履修者で定員に余裕がある場合には、2回生以上の学年でも参加可能。
- ・第2回～第4回は学外で実施する。各日日帰り。
- ・第2回と第4回の交通費（現地集合・現地解散のため）と入園料、第3回の入館料は受講生の負担となる。総額約2,400円を予定。
- ・学生教育研究災害傷害保険に加入すること。
- ・教員への連絡は電子メール（布施宛）を推奨する。